

JAITI 68

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL jaiti@janis.or.jp

JAITIとは、「公益財団法人日本農業研修場協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発 行 公益財団法人 日本農業研修場協力団
事 務 所 〒386-0502 長野県上田市武石沖605-5
TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

今日のジャイチ

巳年となる新年を迎え、蛇が脱皮を繰り返し返して成長していく姿になぞらえて、社会、経済も一段と飛躍することが期待されています。一方、各地での紛争や国主の交代などによって、世界情勢が大きく変化していくのではないかと懸念もされています。

いずれにしても、国際協調のもとに共に安心して成長していけることを望みたいと思います。当団のネパール事業も大勢の皆さんのご支援に支えられ、概ね所期の目的を達成できる段階になりました。この様な状況も踏まえて、現地でパートナーとして共に活動してきたジャイチネパールが解散することになりました。(次項に)



▲ジャイチや訪問者の支援金によって、教室の壁の塗装で部屋が明るくなり、また、床に張られたカーペットの上で気持ち良く勉強ができるようになりました。(カカニ・ブライター学校)

学校関係者からは、これまでのジャイチネパールの業績に感謝するとともに、心配の声も聞かれました。こうした事業を通して、ネパールの人々との係わりは計り知れないものがありますが、物的な支援からお互いをリスペクトする交流への脱皮となるのかもしれない。

カウレデビ・カカニ・ブライター学校の今年度の生徒数は男子150人、女子166人、計316人となり、開設当初の300人規模を上回る状況になっています。カカニ村、学校運営委員会の積極的な学校づくりを推進していただいていることに敬意を表しています。今後も新たな教室棟の建設などが進められています。レカリ・バシファント学校では、男子131人、女子132人、計263人で、一頃に比して少子化や山村部からの転出などで生徒数が減少傾向にあります。日本大使館のご配慮で完備された寄宿舎を有効に活用しながら勉学に励んでいます。

旧事務所から移転したジャイチネパールの事務所について、経過と今後の方向について協議(右から2人目がアルジユン社長)

既に建物を取り壊され道路敷となつた旧事務所跡地

◆学校の様子
カウレデビ・カカニ・ブライター学校の今年度の生徒数は男子150人、女子166人、計316人となり、開設当初の300人規模を上回る状況になっています。カカニ村、学校運営委員会の積極的な学校づくりを推進していただいていることに敬意を表しています。今後も新たな教室棟の建設などが進められています。レカリ・バシファント学校では、男子131人、女子132人、計263人で、一頃に比して少子化や山村部からの転出などで生徒数が減少傾向にあります。日本大使館のご配慮で完備された寄宿舎を有効に活用しながら勉学に励んでいます。

前号でもお知らせいたしましたが、ネパールにおけるジャイチの事業の推進にあたり、これまで、車の両輪としてネパール事業を共に進めてきたジャイチネパールは、昨年7月の会計年度の終了をもって解散手続きに入りました。今回の解散についてジャイチネパールは、二つの学校を公立学校として移管し自立の目途がたつたことや、農場は地元民へ供与して活用が図られていることなどによって直接係わる事業が終了し、ジャイチネパールとして業務を継続していく必要は無くなったとの判断から、株主(ジャイチ

現在、清算手続きが行われており、当面は、ジャイチネパールスタッフの好意により連絡調整は行っていますが、当ジャイチとしてもこれからのネパールとの協力関係を進めていくための新たなパートナーシップの構築を清算と併せて検討していくことにしています。

日本からの訪問の際には、学校を華やかに歓迎の意を表してくれる。(レカリバシファント学校にて)

ジャイチネパールが解散へ

ネパールは株式会社としての登録)の協議によって解散の意思決定がされ、11月16日より活動を終了して会社の登録解除の手続きを開始することとしています。活動当初、ジャイチの現地機関として設置されたジャイチネパールは、その後、組織の強化方針に従い、従属的な立場ではなく、将来に向けて自ら新計画を企画立案し、資金を調達し実行していくことを目指して、新たに自立した組織として、ジャイチと緊密に連携をとりながら双方が協力して事業を進めてきました。

ジャイチネパールから

カカニ・ブライター学校の新たな取組の始まり

カカニ村の学校としてジャイチから移管した当学校では、村、学校運営委員会を始め、関係機関の学校に対する献身的な努力によって、生徒数が年々増加しており、教室が不足する事態になってきました。

当初にジャイチが建設した校舎では、これまでも学年が延びるごとに他目的部屋の転換や増改築を行い教室を確保してきましたが、そのことにより研究室や図書室、ホール、倉庫、職員室など適切な配置にも問題が生じていることから、新

たな校舎の建設を計画しました。



▲ブライター学校全景

この校舎建設のため、学校では様々な機関、組織に支援要求しました。

幸いなことに、カトマンズにあるマザー&チルドレン財団との話し合いにより米国のボランティア団体である同団体から、約1,410万ルピーをかけて新校舎を建設したいとの提案を承認してもらうことがで



▲生徒数の増加に対応するために、新しい校舎の建設が始まったカカニ・ブライター学校。鉄骨2階建て1棟で、各階に4部屋ずつ計8部屋ができる予定。奥に見えるのは従来の校舎で、今回計画された校舎は校門の近くに設置される。

き、昨年10月から建設工事が始まりました。

また、学校で必要な維持費として、これまでのようにジャイチ、滝様からの支援金によって内外壁、教室、トイレなどの塗装をアメリカ人ボランティアと地元住民の協力で作業が行われ、また、トイレのドア、水道管の修理や生徒たちの給食に必要な調理器具の調達も行うことができました。

ご協力いただきました皆様へ心から感謝申し上げます。(ジム・ラル・グルン)

日本とネパールの繋がりを強めるために

レカリ・バシファント学校は、日本からの支援者の暖かな心で、地域の子どものための教育のために設立された学校として、ここで勉強できることに大きな幸せと尊敬を感じており、日本とネパールの人々との健全な関係を維持していくことに役立っています。

1992年に最初の教室が建設されてから30年以上が経過してきており、施設の各所に損傷カ所が出てきています。その時々にはジャイチの支援により応急的な処置はしているものの抜本的な修繕や壁、屋根の塗装

などの工事を行うための政府予算を獲得するのは難しい状況にあります。昨年10月に日本からの支援者による訪問と11月にはジャイチの理事の皆さんが訪問され、学校を円滑に運営するための今後の計画と方針そして健全な関係をさらに深めていくことの話し合いをすることができました。



▲バシファント学校の校長室で意見交換

学校では、日本との繋がりを強めるための方策として、現在、日本に5年間ほど滞在してネパールに戻り、当校の教師を勤めている先生により時間外に基礎的な日本語を教えています。もう少し充実することができれば生徒たちの日本に対する理解も深まり、加えて、学校の生徒募集にも良い影響が出てくるのではないかと、日本語に触れる機会が増えることを期待しています。(ジム・ラル・グルン)

投稿 三十三年ぶりのネパール訪問 堀 邦昌

昨年十一月にネパールを訪問することができた。前回の訪問は1991年のことである。前回はトレッキングの目的で訪問した。当時のトレッキングガイドのギャルゼン・シェルバにも会えることができ、ホテルサンセットビュも懐かしかった。新館が出来ていたこと以外は何も変わっていない。中庭の芝生やレストラン、魚の模様、清潔なたたずまい。懐かしいネパールの訪問であった。



▲今も変わらずに清潔なホテルサンセットビュの芝生の中庭

三十三年前のネパールの旅行を機に、ニュースレターの編集などジャイチの活動に携わることになった。その頃、菊池事務局長が中心となってジャイチの活動が始まったばかりで、カカニ農場では松浦さんがいろいろな作目を試作していて、まだイチゴに辿り着く前だったよう

に思う。バシファント学校は、最初の建物を造るうとしていた。今回は、ジャイチ役員としての訪問だったので、レカリ・バシファント学校、カカニ・ブライター学校などを回り、学校運営の方々と話し合いをして、彼らの学校に対する思いを伺った。



▲今カカニ・ブライター学校の児童たちと一緒に。右端が筆者

ジャイチの支援が概ね完了した現地(農場や学校)を見ることができて感慨深いものがあった。

とりわけカカニ村農民のタマンさんに案内していただいたイチゴ栽培の段々畑は素晴らしい景色で、ジャイチの三十余年にわたる支援の成果が現実のものとなった風景であった。

バシファント学校は森の中にあって湿気が多く、支援者の名前前の付いた建物も三十年を経て施設の老朽化が進んでいるように見えた。教室など

(左ページへ続く)

2024年7月1日〜2024年12月31日迄 順不同 敬称略

ご協力有難うございました

この六ヶ月の間に、左記の方々より、ご支援を戴きました。お礼申し上げます。

◆ 人的協力

- 〔栃木県〕 マン・バハドール・シユレスタ
- 〔東京都〕 滝 和美
- 〔愛知県〕 小蘭四男
- 〔長野県〕 伊藤甫、長谷川秀雄、
- 〔株アサネット〕 柿島明子、
- 菊池健介、株式会社北澤土
- 建、田村由紀子、根岸厚次、
- 真貴子
- 〔海外〕 ネパール ホテルサンセットビュート、
- アルジュン・シン・トラチャン

◆ 寄附金

- 〔北海道〕 串田長久、内藤喜美子、
- 服部昌男
- 〔茨城県〕 伊藤甫、長谷川秀雄、
- 藤井英雄
- 〔栃木県〕 秋山正子、森聖哉
- 〔群馬県〕 小坂橋靖幸、齊藤孝夫、
- 阪本明子、島田寛治、
- 土屋邦夫、堀越利通



「新聞を読む少年」 絵 マン

割田甚

- 〔埼玉県〕 五十嵐道太郎、小野美津男、
- 加藤美恵子、近藤順一、
- 齊藤節子、鈴木吉人、
- 常陸民生、横山明、
- 吉澤竹男
- 〔千葉県〕 小林朋晃、相樂洋子、
- 吉田秀子、吉村芳江
- 〔東京都〕 池田圭伸、石田昭夫、
- 大田原房子、大畑直暉、
- 小川金三郎・陽子、
- 小川昌子、鎌田はなよ、
- 河野節子、黒田秀基、
- 神長善次、須田清、滝和美、
- 西岡巖、野村明賢、
- 本間加代子
- 〔神奈川県〕 荒木眞一・利枝、石井清、
- 河津春子、小林みよ子、
- 桜井勝之、島田正義、
- 十河三郎、(有)中川緑化園、
- 丸山進治・佳子、
- 〔新潟県〕 帯瀬光子、小森修
- 〔長野県〕 株式会社アサネット代表取
- 締役赤羽巧、安藤通男、
- 臼井千鶴子、内野倉千枝子、
- 小山田秀士、柿島明子、
- 金澤みち代、金子元昭、
- 菊池健介、北澤隆洋、
- 清住宗廣、五味あつ美、
- 坂井永一、鈴木佳快代、
- 武内美栄子、田村由紀子、
- 徳武敏幸、中澤知史、

〔栃〕長門牧場、

- 長野合同経理センター、
- 中村彰、箱山年子、
- 舟木公榮、堀常夫、牧幸男、
- 松久よし子、丸山敏和、
- 宮下静子、宮下篤、
- 依田健一・五子、六川横彌
- 〔岐阜県〕 庄村敏
- 〔愛知県〕 岡本守弘
- 〔静岡県〕 石井泰子
- 〔和歌山県〕 中前孝啓
- 〔滋賀県〕 市田重昭、岡田千尋、
- 西村敏、松延宏昭
- 〔兵庫県〕 小野道彦、新海泉
- 〔鹿児島県〕 西重正博
- 〔ネパールへ直接〕 滝和美

◆ 寄付品

- 〔群馬県〕 川野竹子、割田甚一
- 〔千葉県〕 小宮芳子ほか2名
- 〔東京都〕 安藤雅子、石田みつ江、
- 今井正史、(株)野村建設工業、
- 橋上可和子、本間加代子
- 〔神奈川県〕 堀内フサ子、安延義弘
- 〔長野県〕 井沢永美、小澤仁乃、
- 加藤美幸、金井善男、
- 金澤悦子・あすの会、
- 菊池健介・道子、丸山愛子
- 〔静岡県〕 石井泰子
- 〔愛知県〕 伊藤正裕
- 〔熊本県〕 藤取比呂美

(右ページの続き)

個別に建っているので修繕が必要な部分が多い。

校長先生たちは、日本語教育を学校の特色にしたいなど、生徒数を増やして安定した学校運営への意欲が感じられた。

カカニ学校は一つの校舎なので管理がしやすい施設であった。別の二階建ての教室を造っているところで、いろいろな支援があつて順調に運営されているようであった。

ネパールでは九月末に大雨が降つて土砂崩れなどで二百人を超える人々が亡くなつてい

る。カトマンズからタンコットの峠道、それからシンパンジャンへの道、また、カカニ村への峠道などは大規模な土砂崩れがあつたらしく、応急工事のお陰でようやく通行可能になったばかりで、道は想像以上の悪路の連続であつた。

今後、温暖化による豪雨が増えるなど急峻な地形の山間部では大きな自然災害が頻発する可能性が高い。

ネパールは支援が必要な国であることは、これからも変わらない。

(長野県上田市在住)

ご寄附のお願い

シャイチの活動を何時も心に留めて下さり、感謝申し上げます。皆様方からのご寄附に対し、所得税法・法人税法上の優遇措置を受けることができます。以下に説明致しますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

シャイチの基本的財源として

皆様よりいただいた寄附金を、シャイチの公益活動を維持・継続していくための財源として、受け入れるものです。寄附金の用途・内容については、ホームページ記載の決算書等により、皆様にお知らせ致します。

その中より剰余資金が発生した場合は、今までどおり基金として繰り入れたいします。基金は、シャイチの財源を安定させ、シャイチの活動をよりいっそう強固な活動につなげることが出来ます。

所得税法、法人税法の優遇措置

公益財団法人は、すべて税制上の特定公益増進法人となり、寄附していただいた金額は、下記の寄附金優遇措置の対象となります。

- ①所得控除 その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額が総所得金額等、退職、所得金額又は山林所得金額より控除できます。
- ②税額控除 その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額の40%が所得税額から控除されます。

(例 10,000円の寄附の場合 所得税が3,200円戻ります。)

上記優遇措置を受けるには基本、確定申告が必要です。

(税法の改正等がありますので、詳細は税務署にお問い合わせください。)

郵便振替・銀行振込での募金

- お振込先
 - 郵便振替 00510-4-65434
 - 銀行振込 八十二銀行 丸子支店 (普)420577
 - 座名 公益財団法人 日本農業研修場協力団

